

事業シート(平成29年度決算)

40_文化財課.xlsx_1

事業名	94700 市内遺跡発掘調査事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	
						款	9	教育費		個別分野	5	歴史文化		
						項	4	社会教育費		施策概要	1	文化財などの保存・継承		
						目	7	文化財費		根拠計画		教育振興基本計画		
担当課	教育委員会事務局	文化財課	内線	2356										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・埋蔵文化財を保護し次代に伝える。	概要	・開発事業により影響を受ける埋蔵文化財を記録保存する。 ・保存活用に必要な遺跡の内容を確認する。
----	-------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		3,300	2,837	2,940	2,940	2,095
特定財源	国費 (埋蔵文化財発掘調査事業費1/2)	1,650	1,413	1,470	1,470	1,041
	県費 ()					
	その他 ()					
一般財源		1,650	1,424	1,470	1,470	1,054
個票枝番	主な事業内容					
	試掘・範囲確認調査、整理	2,680	2,529	2,680	2,680	2,052

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	3,000
要求額	財務部査定額	市長査定額 (d)	増減 (d)-(c)
2,388	2,140	2,140	△ 800
1,188	1,070	1,070	400
1,200	1,070	1,070	400
査定額	説明		
1,880			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・東垣内遺跡、松本上野遺跡、二反畑遺跡、袖野遺跡の試掘確認調査の実施 ・広瀬城跡の現況測量の実施
評価等	・開発事業に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会対応、試掘調査等を実施し、埋蔵文化財保護を推進した。 ・広瀬城跡の国指定史跡に向けた測量成果を得ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・開発に対応するため、継続して事業を実施する。 ・国史跡への指定に向け、調査成果を踏まえた検討を行う。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・殿屋敷遺跡、峠遺跡、桑野遺跡の試掘確認調査の実施 ・広瀬城跡の現況測量の実施
評価等	・開発事業に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会対応、試掘調査等を実施し、埋蔵文化財保護を推進した。 ・広瀬城跡の国指定史跡に向けた測量成果を得ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・開発に対応するため、継続して事業を実施する。 ・国史跡への指定に向けた取り組みを行う。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・開発事業などに対応するための緊急目的の発掘調査 ・国の指導等による松倉城跡・広瀬城跡の内容確認調査

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

事業名	94710 歴史資料購入事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	
						款	9	教育費		個別分野	5	歴史文化		
						項	4	社会教育費		施策概要	1	文化財などの保存・継承		
						目	7	文化財費		根拠計画		教育振興基本計画		
担当課	教育委員会事務局	文化財課	内線	2977										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・郷土に関わる歴史資料の流失、散逸を防ぐとともに、市民の郷土学習に役立てる。	概要	・郷土に関わる歴史資料を購入する。
----	--	----	-------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		1,000	951	1,000	1,000	973
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
一般財源		1,000	951	1,000	1,000	973
個票枝番	主な事業内容					
	備品等購入	1,000	951	1,000	1,000	973

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	1,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
1,000	9,100	9,100	8,100
1,000	9,100	9,100	△ 8,100
査定額	説明		
9,100			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・郷土に関わる歴史資料の購入 購入資料件数 5件 流失、散逸を防いだ件数 5件
評価等	・郷土に関係する貴重な資料の流失、散逸が防がれ、公有化により展示公開や研究等への活用がなされた。
次年度以降の考え方 (担当課)	・継続的に郷土の歴史資料の購入を進める。 ・飛騨高山まちの博物館などの教育施設での展示を通じて、市民への公開を実施する。 ・学校などへ、資料の活用に向けた情報提供を行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・郷土に関わる歴史資料の購入 購入資料件数 7件 流失、散逸を防いだ件数 7件
評価等	・郷土に関係する貴重な資料の流失、散逸が防がれ、公有化により展示公開や研究等への活用がなされた。
次年度以降の考え方 (担当課)	・継続的に郷土の歴史資料の購入を進める。 ・飛騨高山まちの博物館などの教育施設での展示を通じて、市民への公開を実施する。 ・学校などへ、資料の活用に向けた情報提供を行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・郷土の歴史資料の流出、散逸の防止及び市民の郷土学習のため

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

事業名	94720 文化財保護事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	
					款	9	教育費		個別分野	5	歴史文化		
					項	4	社会教育費		施策概要	1	文化財などの保存・継承		
					目	7	文化財費		根拠計画	教育振興基本計画			
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	2456									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域で文化財を保存活用する活動を支援し、文化財の保存を図る。 ・文化財保護行政の円滑な執行	概要	・文化財保存団体に対する助成 ・史跡や伝承芸能の保存団体の運営・活動に対する助成 ・文化財関係の協議会等への参加
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		8,677	7,111	8,872	9,654	9,346
特定財源	国費 ()					
	県費 (祭礼復興事業費1/2、県移譲事務交付金)	86	87	87	87	1,068
	その他()					
一般財源		8,591	7,024	8,785	9,567	8,278
個票枝番	主な事業内容					
	文化財保護団体の保存活動事業に対する助成	7,630	6,422	7,775	8,557	8,557

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	8,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
9,045	8,810	8,810	△ 62
87	68	68	19
8,958	8,742	8,742	43
査定額	説明		
7,713	文化財等保護事業補助金		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・補助件数 56件 伝統的建造物群保存地区保存会 11団体 高山祭屋台管理 1団体 からくり屋台管理技術伝承保存 1団体 高山祭屋台保存技術後継者育成 1団体 伝承芸能保存団体 20団体 市指定文化財管理 2団体 史跡保存団体 12団体 国指定文化財管理 8団体
評価等	・伝承芸能の継承や史跡の整備など、活動団体の積極的な文化財保護活動が行われ、多くの活動団体に利用されている。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・保存団体と意見交換を行い、情報提供を行うなどの連携を図る。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・補助件数 57件 伝統的建造物群保存地区保存会 11団体 高山祭屋台管理 1団体 からくり屋台管理技術伝承保存 1団体 高山祭屋台保存技術後継者育成 1団体 伝承芸能保存団体 20団体 市指定文化財管理 2団体 史跡保存団体 12団体 国指定文化財管理 8団体 無形文化遺産保存団体 1団体
評価等	・伝承芸能の継承や史跡の整備など、活動団体の積極的な文化財保護活動が行われ、多くの活動団体に利用されている。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・保存団体と意見交換を行い、情報提供を行うなどの連携を図る。

施策の実施方針	・文化財の保存
担当課 予算要求 ポイント	・地域文化継承への支援 ・伝承芸能保存団体等に対する助成

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

40_文化財課.xlsx_4

事業名	94725 指定文化財保存修理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	
					款	9	教育費		個別分野	5	歴史文化		
					項	4	社会教育費		施策概要	1	文化財などの保存・継承		
					目	7	文化財費		根拠計画	教育振興基本計画			
担当課	高山市教育委員会	文化財課	内線	2356									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・国・県・市指定文化財を保護し次代に伝える。	概要	・指定文化財の保存修理に対する助成
----	------------------------	----	-------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		12,000	6,339	8,800	8,960	8,921
特定財源	国費 ()					
	県費 (県指定文化財修理事業費2/3)	800	590			106
	その他()					
一般財源		11,200	5,749	8,800	8,960	8,815
個票枝番	主な事業内容					
	指定文化財の保存修理事業に対する助成	12,000	6,339	8,800	8,960	8,921

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	10,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
4,972	5,000	5,000	△ 3,800
4,972	5,000	5,000	3,800
査定額	説明		
5,000	文化財保護条例に基づく補助		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・県指定文化財 法華寺本堂 ・市指定文化財 太刀、東家土蔵、伊太郎曾神社本殿、洲岬家
評価等	・各文化財の状態を正確に把握し計画的に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・修理等に対する文化財所有者のニーズは大きく、今後も事業を継続する。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・県指定文化財 飛騨東照宮おかめ舞獅子舞 ・市指定文化財 角正、宗猷寺本堂
評価等	・各文化財の状態を把握し、優先順位を決め、計画的に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・修理等に対する文化財所有者のニーズは大きく、今後も事業を継続する。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・指定文化財の存続のための保存修理

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

40_文化財課.xlsx_4

事業シート(平成29年度決算)

40.文化財課.xlsx_5

事業名	94730 世界文化遺産登録推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	
						款	9	教育費		個別分野	5	歴史文化		
						項	4	社会教育費		施策概要	2	歴史・文化を活用した地域づくり		
						目	7	文化財費		根拠計画		教育振興基本計画		
担当課	教育委員会事務局	文化財課	内線	2354										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山の町並等の世界遺産への登録 ・高山祭の屋台行事のユネスコ無形文化遺産への登録 ・歴史・文化の語り部の育成	概要	・世界文化遺産、ユネスコ無形文化遺産登録に向けての啓発活動等 ・歴史ガイドマスター等による語り部の育成
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
歴史ガイドマスターの登録者数	0人	0人	20人
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	73.6%	79.4%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	増減 (b)-(a)
		3,000	2,642	20,500	20,500	17,620
特定財源	国費 ()					
	県費 (ユネスコ無形文化遺産登録記念事業費1/2)				9,900	9,900
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	200	140	5,700	2,900	2,760
一般財源		2,800	2,502	14,800	7,462	4,960
個票枝番	主な事業内容					
	歴史ガイドマスター養成講座の開催	500	273	500	262	△ 11
	ユネスコ無形文化遺産啓発	2,500	2,369		0	△ 2,369
◎	1 高山祭屋台の総曳き揃え(ユネスコ無形文化遺産登録記念)			20,000	20,000	20,000

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
524	500	1,700	△ 18,800
	100	100	5,600
524	400	1,600	13,200
査定額	説明		
500			
1,200	世界人形劇フェスティバル(いいだ人形劇フェスタ2018)への参加		

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・郷土の歴史・文化の語り部を養成する講座を開催 まちの博物館ボランティアガイド養成講座 開催回数8回、受講者数59人 ・提案地区内で各種会合の際に、啓発活動を積極的に実施 ・ユネスコ無形文化遺産登録決定記念行事の開催
評価等	・「高山祭の屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録された。 ・地域の文化資源の保存活用のため、市民への啓発や自ら保存活用に取り組む人材の育成が必要がある。 ・子どもたちが、郷土の歴史や文化を理解、継承するための環境づくりが必要である。 ・登録決定記念行事の開催により、登録の意義について市民への周知が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・世界文化遺産登録に向けて、啓発活動等を積極的に行う。 ・無形文化遺産の啓発により伝統文化についての意識向上を図る。 ・郷土の歴史・文化の語り部を増やす取り組みを行い、スキルアップのため専門の講座を開催する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・郷土の歴史・文化の語り部を養成する講座を開催 まちの博物館ボランティアガイド養成講座 開催回数6回、受講者数51人 ・提案地区内で各種会合の際に、啓発活動を積極的に実施 ・ユネスコ無形文化遺産登録記念「高山祭屋台の総曳き揃え」の開催
評価等	・地域の文化資源の保存活用のため、市民への啓発や自ら保存活用に取り組む人材の育成に向けた動きがある。 ・子どもたちが、郷土の歴史や文化を理解、継承するための環境づくりが必要である。 ・50年ぶりに春秋の祭屋台が引き揃えられ住民の意識が高まった。
次年度以降の考え方(担当課)	・世界文化遺産登録に向けて、啓発活動等を積極的に行う。 ・無形文化遺産の啓発により伝統文化についての意識向上を図る。 ・郷土の歴史・文化の語り部を増やす取り組みを行い、スキルアップのため専門の講座を開催する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・郷土の歴史・文化の語り部の育成 ・ユネスコ無形文化遺産「高山祭の屋台行事」の啓発による伝統文化の意識向上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・市外での啓発に関する経費を計上

40.文化財課.xlsx_5

主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	94730 世界文化遺産登録推進事業費	区分	☒ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 文化財課
			☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	9	教育費		
枝番・内容	1 高山祭屋台の総曳き揃え(ユネスコ無形文化遺産登録記念)		☐ その他重要事業			項	4	社会教育費	内線	2354
			☐			目	7	文化財費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山祭の屋台行事のユネスコ無形文化遺産への登録記念事業	概要	・屋台総曳き揃えの実施
----	------------------------------	----	-------------

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

事業実績、評価等		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	20,000
主な経費	・実行委員会への負担金	
対前年度増減額(当初予算)		20,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・実施内容 ユネスコ無形文化遺産登録の記念事業(屋台総曳き揃え等)の実施	
[スケジュール] ・平成29年4月28日・29日の開催に併せて準備を行う	

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	20,000
	繰越	
	補正等	
	最終	20,000
決算額		20,000
対前年度増減額(決算)		20,000

事業実績、評価等		
[事業内容] ・実施内容 ユネスコ無形文化遺産登録の記念事業(屋台総曳き揃え等)の実施 ■4月29日(土) 【人 出 数】135, 000人 【天 候】午前:晴れ 午後:曇り一時雨 夜:晴れ 【行事内容】高山祭屋台の総曳き揃え:上二之町並びに下二之町、大新町一丁目 夜の屋台曳き廻し(獅子舞):安川通り並びに本町通り、下三之町通り からくり実演・獅子舞・闘鶏楽:中橋公園前 春秋獅子舞・闘鶏楽の競演:櫻山八幡宮境内 ■4月30日(日) 【人 出 数】122, 000人 【天 候】午前:晴れ 午後:晴れ 【行事内容】高山祭屋台の総曳き揃え:本町一丁目、さんまち通り並びに弥生橋付近から下一之町 からくり実演・獅子舞・闘鶏楽:中橋公園前 春秋獅子舞・闘鶏楽の競演:櫻山八幡宮境内 ■両日合計人数 257, 000人 [評価等] 住民の伝統文化に対する意識が高まった。		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ H29完了 ☐ H30完了予定

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	0
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		△ 20,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業シート(平成29年度決算)

40_文化財課.xlsx_7

事業名	94750 伝統的建造物群保存地区保存事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	
						款	9	教育費		個別分野	5	歴史文化		
						項	4	社会教育費		施策概要	1	文化財などの保存・継承		
						目	7	文化財費		根拠計画		教育振興基本計画		
担当課	高山市教育委員会	文化財課	内線	2356										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝建地区内における伝建物の保存整備及び非伝建物の景観復元を行い、伝統的な景観を維持する。	概要	・伝建地区内における伝建物の修理及び非伝建物の修景事業に対する助成等
----	---	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景の実施済割合	64.3%	66.3%	75%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		40,500	39,652	40,500	40,500	37,906	△ 1,746
特定財源	国費 (伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2)	20,000	19,670	20,000	20,000	18,704	△ 966
	県費 ()						
	その他()						
一般財源		20,500	19,982	20,500	20,500	19,202	△ 780
個票枝番	主な事業内容						
	伝統的建造物群保存地区修理修景事業に対する助成	39,900	39,259	39,900	39,900	37,355	△ 1,904

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・修理、修景 7件
評価等	・保存計画に基づき修理・修景を行い、町並み景観の整備を推進した。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・保存計画に基づき、今後も継続実施する。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルの普及・啓発を進める。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・修理、修景 10件
評価等	・保存計画に基づき修理・修景を行い、町並み景観の整備を推進した。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・保存計画に基づき、今後も継続実施する。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルの普及・啓発を進める。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	40,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
40,500	40,500	40,500	0
20,000	20,000	20,000	0
20,500	20,500	20,500	0
査定額	説明		
39,900	伝統的建造物群保存地区保存条例に基づく補助		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・歴史的町並保存の推進 ・伝統的建造物群保存地区保存対策に対する助成

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

事業名	94755 伝統的建造物群保存地区防災対策事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	
						款	9	教育費		個別分野	5	歴史文化		
						項	4	社会教育費		施策概要	1	文化財などの保存・継承		
						目	7	文化財費		根拠計画		教育振興基本計画		
担当課	教育委員会事務局	文化財課	内線	2354										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝建地区を災害に強い町並とするために、伝建地区の土蔵の修理や防災設備の整備を継続して実施し、防火能力の向上を図る。	概要	・伝建地区内の土蔵等修理事業に対する補助、防災設備の整備等
----	--	----	-------------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景の実施済割合	64.3%	66.3%	75%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		40,498	36,810	40,110	103,168	89,827	53,017
特定財源	国費 (伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2)	20,000	18,156	20,000	20,000	44,252	26,096
	県費 ()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源		20,498	18,654	20,110	83,168	45,575	26,921
個票枝番	主な事業内容						
	伝統的建造物群保存地区防災対策事業(土蔵修理)に対する助成	19,900	17,494	18,400	17,458	15,192	△ 2,302
	観光拠点形成重点支援事業				64,000	53,629	53,629
	旧森邸土蔵防災対策	20,498	19,268	21,500	21,500	20,822	1,554

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・土蔵等修理事業への補助 4件 ・旧森邸土蔵修理 1件
評価等	・保存計画や防災計画、様々な伝建地区の調査報告などを基に保存修理を行った。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・保存計画、防災計画に基づき、今後も継続して実施する。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・土蔵等修理事業への補助 3件 ・旧森邸土蔵修理 1件 ・吉島家住宅土蔵等修理 1件
評価等	・保存計画や防災計画、様々な伝建地区の調査報告などを基に保存修理を行った。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・保存計画、防災計画に基づき、今後も継続して実施する。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	40,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
40,444	40,560	40,560	450
20,000	20,000	20,000	0
	1,000	1,000	△ 1,000
20,444	19,560	19,560	550
査定額	説明		
22,500	伝統的建造物群保存地区保存条例に基づく補助		
17,600			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・文化財の保存
担当課 予算要求 ポイント	・歴史的町並み保存の推進 ・伝統的建造物群保存地区防災対策に対する助成

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

事業名	94760 歴史遺産等保存活用事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	
						款	9	教育費		個別分野	5	歴史文化		
						項	4	社会教育費		施策概要	2	歴史・文化を活用した地域づくり		
						目	7	文化財費		根拠計画		教育振興基本計画		
担当課	教育委員会事務局	文化財課	内線	2355										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・歴史文化遺産の活用や歴史街道の整備等により、郷土の歴史や文化を次代に伝える。 ・文化財指定されていない文化遺産や郷土の歴史文化などの保存、継承を支援するための制度を創設する。 ・記念物を良好な状態で保存管理するための環境を整備する。 ・美しいふるさと認証制度による郷土愛の醸成や保護活動を促進する。	概要	・歴史街道の調査・整備を行う。 ・伝統的建造物及びその周辺環境や無形文化遺産の調査、記録を行う。 ・ふるさと伝承記録として、伝承芸能等の映像記録を制作する。 ・天然記念物や史跡等の保存環境の整備を行う。 ・文化財標柱・説明看板等を整備する。 ・美しいふるさと認証団体の募集と認証
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
美しいふるさとの認証団体数(累計)	112団体	119団体	150団体

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		5,342	3,761	11,080	14,080	10,848
特定財源	国費 (文化財施設整備事業費1/2)		240	250	250	0
	県費 (					
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、景観まちづくり刷新事業雑入)	90	90	2,100	7,100	5,749
一般財源		5,252	3,431	8,730	6,730	5,099
個票枝番	主な事業内容					
	ふるさと伝承記録制作	502	0	1,000	1,000	0
	歴史街道調査・整備	1,000	0	1,000	1,000	0
◎ 1	無形文化遺産、日本遺産の活用			7,000	10,000	8,899
	高山祭屋台等の復刻・保存に向けた調査					
	日本遺産等の地域資源の活用に向けた調査					
	歴史遺産、伝統文化保存活用事業	3,840	3,761	2,080	2,080	1,949

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・美しいふるさと認証 22団体 ・天然記念物保護管理(臥龍のサクラ、千光寺の五本スギ、小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群、夫婦松) ・文化財説明看板等製作 3箇所 ・ふるさと伝承記録制作 1件(槍獅子)(歴史的風致維持向上委員会にて実施)
評価等	・地域の貴重な歴史遺産の保護・保存が図られ、郷土学習への活用や伝統文化の継承、保護意識の高まりがみられた。
次年度以降の考え方(担当課)	・多言語化表記の普及も踏まえつつ、計画的な説明看板等の設置を全市的に行っていく。 ・引き続きふるさと伝承記録として、地域の貴重な無形民俗文化財等の伝承記録を制作する。 ・引き続き美しいふるさと認証団体の募集と認証を行う。 ・歴史街道整備については、今後も計画的に実施する。 ☒ 維持・改善☐ 拡大☐ 縮小☐ 廃止検討☐ H28完了☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・美しいふるさと認証 7団体 ・天然記念物保護管理(臥龍のサクラ、小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群) ・文化財説明看板等製作 3箇所 ・ふるさと伝承記録制作 1件(福地のへんべとり)(歴史的風致維持向上委員会にて実施) ・無形文化遺産、日本遺産の活用(AR看板の整備)
評価等	・地域の貴重な歴史遺産の保護・保存が図られ、郷土学習への活用や伝統文化の継承、保護意識の高まりがみられた。
次年度以降の考え方(担当課)	・多言語化表記の普及も踏まえつつ、計画的な説明看板等の設置を全市的に行っていく。 ・引き続きふるさと伝承記録として、地域の貴重な無形民俗文化財等の伝承記録を制作する。 ・引き続き美しいふるさと認証団体の募集と認証を行う。 ・歴史街道整備については、今後も計画的に実施する。 ・日本遺産の活用を推進する。 ☐ 維持・改善☒ 拡大☐ 縮小☐ 廃止検討☐ H29完了☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	14,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
18,567	18,180	18,180	7,100
5,000	7,100	7,100	△ 5,000
13,567	11,080	11,080	△ 2,350
査定額	説明		
1,000			
1,000			
10,000			
2,000	かつて存在した高山祭屋台や失われつつある伝統行事等の調査		
1,800	国府地域(荒城地区)、高根地域(日和田地区)		
2,380			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・文化財の保存 ・日本遺産の活用
担当課 予算要求 ポイント	・伝統文化や文化財等の調査・記録による保存・継承と活用

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	94760 歴史遺産等保存活用事業費	区分	☒ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 文化財課
			☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	9	教育費		
			☐ その他重要事業			項	4	社会教育費		
			☐			目	7	文化財費		
枝番・内容	1 無形文化遺産、日本遺産の活用								内線	2354
									作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・文化財指定されていない文化遺産や郷土の歴史文化などの保存、継承を支援するための制度を創設する。 ・日本遺産構成文化財の活用	概要	・AR看板の計画的な整備
----	---	----	--------------

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

事業実績、評価等		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	7,000
主な経費	・看板製作等委託料	
対前年度増減額(当初予算)		7,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・実施内容: 看板にAR技術を組み込むことにより、文化財の見せ方に分かりやすさやインパクト、体感的な楽しみを持たせ、世界遺産・日本遺産をより効果的にPRする。 <内容> ○屋台蔵や日本遺産の構成文化財に説明用看板を設置する。 ○看板には、通常の文化財説明と、QRコードなどのマーカ―を掲載する。 ○無料アプリをダウンロードしマーカ―を読み取ると、文化財をPRする様々なコンテンツを表示する。	
[スケジュール] ・平成29年12月～平成30年3月 業者委託制作 ・平成30年3月 看板及びアプリ公開	

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	7,000
	繰越	
	補正等	3,000
	最終	10,000
決算額		8,899
対前年度増減額(決算)		8,899

事業実績、評価等	
[事業実績] ・実施内容: 看板にAR技術を組み込むことにより、文化財の見せ方に分かりやすさやインパクト、体感的な楽しみを持たせ、無形文化遺産・日本遺産をより効果的にPRする。 <内容> ○屋台蔵や日本遺産の構成文化財に説明用看板を設置する。 ○看板には、通常の文化財説明と、QRコードなどのマーカ―を掲載する。 ○無料アプリをダウンロードしマーカ―を読み取ると、文化財をPRする様々なコンテンツを表示する。	
[評価] ・「祭屋台」は、3Dオブジェクト表現を用いることで、普段屋台蔵に収蔵されている祭屋台を市民及び観光客の方がいつでも見られるような環境を構築できた。 ・「構成文化財」は、東山遊歩道を中心に10ヶ所とし、現地を訪れても建物内部を見ることができないため、市民及び観光客の方に分かりやすく魅力的となるような環境を構築できた。 ・多言語で対応の看板の設置により、日本人観光客や外国人観光客にも紹介することができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	平成29年度から平成31年度までの3ヵ年事業として引き続き実施 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	10,000
主な経費	・看板製作等委託料	
対前年度増減額(当初予算)		3,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・実施内容: 高山城の城郭等を高精細なコンピューターグラフィック(以下「CG」。)で再現し、CGを元に仮想現実(バーチャルリアリティ:以下「VR」。)映像作品を作成する。さらに、CGを元に市内各所から見たであろう高山城のCGコンテンツを作成し、スマートフォンやスマートタブレット等の端末で鑑賞体験ができる拡張現実(オーグメントッドリアリティ:以下「AR」。)アプリケーションの開発を行う。 <内容> (1)高精細CGの作成 ①高山城の天守閣や本丸御殿の建物等を高精細なCGにより再現を行う。 ②作成対象範囲は、当時の高山城とする。 (2)ARアプリケーションの開発 ①天守閣などの建物のCG再現のほか、CGモデルを活用したバーチャル再現を行う。 ②CG再現でのビューポイントを3箇所以上構築すること。 ③アプリケーションの運用にかかるサーバーは受注者が管理する。 (3)説明看板製作及び設置 ①日本遺産構成文化財の日本語及び外国語の周知案内説明板の製作、設置する。 ②対象文化財は日本遺産構成文化財6箇所(日本語・外国語表記) ③外国語は英語・中国語(簡体)・中国語(繁体)・韓国語の4カ国語	
[スケジュール] ・平成30年8月～平成31年3月 業者委託制作 ・平成31年3月 看板及びアプリ公開	

事業シート(平成29年度決算)

40_文化財課.xlsx_11

事業名	94770 高山祭屋台保存修理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	
					款	9	教育費		個別分野	5	歴史文化		
					項	4	社会教育費		施策概要	1	文化財などの保存・継承		
					目	7	文化財費		根拠計画	教育振興基本計画			
担当課	高山市教育委員会 文化財課	内線	2355										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・江戸時代から続く日本有数の祭の一つとして数えられる高山祭の宝として、後世に残していく。	概要	・緊急に修理が必要なものから、順次修理を行う。
----	--	----	-------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	73.6%	79.4%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	増減 (b)-(a)
		40,000	33,392	40,000	40,000	3,163
特定財源	国費 (高山祭屋台等保存修理事業費1/2)	20,000	16,695	20,000	20,000	1,581
	県費 (無形文化遺産保存修理事業補助金)				5,000	5,000
	その他(高山祭屋台等保存修理事業費寄附金、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	10,500	10,178	8,500	6,355	△ 3,823
一般財源		9,500	6,519	11,500	6,924	405
個票枝番	主な事業内容					
	高山祭屋台・屋台蔵の修理	40,000	33,392	40,000	36,555	3,163

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・日枝神楽台、豊明台、恵比須台 修理 ・麒麟台屋台蔵 修理
評価等	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施する。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・大國台、石橋台、龍神台 修理 ・金鳳台屋台蔵 修理
評価等	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施する。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	40,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
39,241	40,000	40,000	0
19,620	20,000	20,000	0
3,924	8,000	8,000	500
15,697	12,000	12,000	△ 500
査定額	説明		
40,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・国指定重要有形民俗文化財高山祭屋台及び屋台蔵の計画的な保存修理の実施 ・屋台修理技術等の伝承

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

事業名	94780 市史編纂事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	
						款	9	教育費		個別分野	5	歴史文化		
						項	4	社会教育費		施策概要	1	文化財などの保存・継承		
						目	7	文化財費		根拠計画		教育振興基本計画		
担当課	教育委員会事務局	文化財課	内線	2356										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・郷土の歴史を次代に伝える。	概要	・高山市史の編纂、刊行 ・編纂調査成果の公開、活用
----	----------------	----	------------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		9,934	8,951	9,934	9,934	9,176
						225
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(市史編纂事業雑入)	500	533	500	500	415
一般財源		9,434	8,418	9,434	9,434	8,761
個票枝番 主な事業内容						343
	新高山市史の編纂、発刊	9,934	8,951	9,934	9,934	9,176
	古文書解読等指導					225

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	10,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
10,988	10,034	10,434	500
500	500	500	0
10,488	9,534	9,934	△ 500
査定額	説明		
10,034			
400			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・市史本編として「金森氏領国時代編」1巻300冊を発刊した。
評価等	・市史編纂の調査成果を活用した講座等の開催により、市民の郷土の歴史文化に対する関心を高めた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・「近世後半編」を発刊予定 ・市史に関する講演会や講座を開催し、市民への関心を高める。 ・ホームページでも公開し、教育や観光振興に活用できるようにする。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・市史本編として「幕府直轄地時代編」1巻300冊を発刊した。
評価等	・市史編纂の調査成果を活用した講座等の開催により、市民の郷土の歴史文化に対する関心を高めた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・「近現代編」を発刊予定 ・市史に関する講演会や講座を開催し、市民への関心を高める。 ・ホームページでも公開し、教育や観光振興に活用できるようにする。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・高山市史の編纂、刊行

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・市史編纂事業発展のための経費を計上

事業シート(平成29年度決算)

事業名	94800 飛騨高山まちの博物館管理事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	
						款	9	教育費		個別分野	5	歴史文化		
						項	4	社会教育費		施策概要	3	歴史・文化に親しみ理解する機会の充実		
						目	8	文化財施設費		根拠計画		教育振興基本計画		
担当課	教育委員会事務局	文化財課	内線	2977										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民や観光客が気軽に集い憩う中で、城下町高山の歴史や文化に触れることにより、郷土愛の醸成を図る ・観光客に高山の歴史を感じてもらうことで高山の魅力を知ってもらい、リピーターを増やす。	概要	・城下町高山を中心とした歴史文化について資料収集、調査研究、展示、教育普及などの活動を行う。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
飛騨高山まちの博物館の来館者数(年間)	182,316人	184,273人	225,000人
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	73.6%	79.4%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		26,113	22,467	26,893	26,893	24,116
						増減 (b)-(a)
						1,649
特定財源	国費 (文化施設整備事業費1/2)			200	200	100
	県費 ()					
	その他(文化施設使用料)	45	39	45	45	32
						△ 7
一般財源		26,068	22,428	26,648	26,648	23,984
						1,556
個票枝番	主な事業内容					
	飛騨高山まちの博物館の管理運営・特別展の開催	25,613	22,198	26,893	26,893	24,116
	市制施行80周年記念特別展	500	269			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	29,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
32,558	27,663	27,663	770
40	45	45	0
32,518	27,618	27,618	△ 970
査定額	説明		
27,663			

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・特別展、企画展を開催 4回 ・市制施行80周年記念特別展「希望の高山」展の開催 ・歴史講座、体験教室等を開催 17回 ・施設利用者数 来館者数 182,316人 研修室利用者数 9,910人 閲覧室利用者数 1,656人 ・入館者が100万人を突破(平成28年10月5日)	
評価等	・郷土教育を推進する教育施設として、また伝統的建造物群や城下町景観重点地域などの歴史的風致の維持向上の拠点施設としての運営を行った。	
次年度以降の考え方(担当課)	・館内の案内表示を増やしたり、計画的に常設展示のリニューアルを行うことで、見やすく分かり易い学習環境を整備する。 ・児童生徒向けのワークシート等を作成し、学校での郷土学習や自主学習の支援を図る。 ・他の博物館や自治体、文化団体などとの連携による展示事業を実施し、幅広い分野での学習機会を提供する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・特別展、企画展を開催 6回 ・歴史講座、体験教室等を開催 20回 ・施設利用者数 来館者数 184,273人 研修室利用者数 5,582人 閲覧室利用者数 1,853人	
評価等	・郷土教育を推進する教育施設として、また伝統的建造物群や城下町景観重点地域などの歴史的風致の維持向上の拠点施設としての運営を行った。	
次年度以降の考え方(担当課)	・館内の案内表示を増やしたり、計画的に常設展示のリニューアルを行うことで、見やすく分かり易い学習環境を整備する。 ・児童生徒向けのワークシート等を作成し、学校での郷土学習や自主学習の支援を図る。 ・他の博物館や自治体、文化団体などとの連携による展示事業を実施し、幅広い分野での学習機会を提供する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・特別展の開催 ・未来の高山を担う子ども達のための教育普及活動の充実

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

事業名	94810文化財施設管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	
					款	9	教育費		個別分野	5	歴史文化		
					項	4	社会教育費		施策概要	3	歴史・文化に親しみ理解する機会の充実		
					目	8	文化財施設費		根拠計画		教育振興基本計画		
担当課	教育委員会事務局	文化財	内線	2356									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・郷土の歴史に対して、興味、関心を深め、文化財愛護意識を高めるとともに、郷土の歴史を次代に伝える。 ・収蔵施設での文化財や歴史資料等の適正な保存・管理 ・発掘調査等出土品の整理・調査研究や考古学関係の講座・学習会等の開催により、郷土の歴史に対する理解を深める。 ・市有文化財施設等の安全・安心な利用を図る。	概要	・指定管理による文化財施設の運営 ・文化財収蔵施設等の維持管理 ・風土記の丘学習センター等の管理運営
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	73.6%	79.4%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		49,999	48,087	51,769	52,027	50,296
特定財源	国費 (伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2)					293
	県費 (					
	その他(敷地占用料)	194	695	194	194	200
一般財源		49,805	47,392	51,575	51,833	49,803
個票枝番	主な事業内容					
	文化財施設の管理	49,999	48,087	51,769	52,027	50,296

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	53,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
84,766	51,339	51,339	△ 430
194	194	194	0
84,572	51,145	51,145	430
査定額	説明		
51,339			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・指定管理7施設入館者数 254,224人 ・風土記の丘学習センター夏休み縄文体験講座の開催 参加者 土器づくり講座 94人 勾玉づくり講座 218人
評価等	・資料の収集、展示等を通して、郷土の歴史に触れる場の提供ができており、同時に経費の縮減にも努めている。
次年度以降の考え方(担当課)	・施設の機能強化や展示等の充実を図り、郷土の歴史に親しめる環境づくりを行う。 ・ランニングコストの低減に努める。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・指定管理7施設入館者数 229,742人 ・風土記の丘学習センター夏休み縄文体験講座の開催 参加者 土器づくり講座 93人 勾玉づくり講座 169人
評価等	・資料の収集、展示等を通して、郷土の歴史に触れる場の提供ができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・施設の機能強化や展示等の充実を図り、郷土の歴史に親しめる環境づくりを行う。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・指定管理施設をはじめ、文化財施設の事業の充実 ・風土記の丘学習センターの体験教室の充実

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

事業名	94820 伝統文化交流拠点施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	市長公約	・市内観光及び広域観光の交通発着点であり、地産地消や高山の文化なども体験できる拠点空間(観光ハブ拠点)の形成に努めます。 ・地産地消が体験できる拠点空間(施設)の整備に努めます。
			款	9	教育費		個別分野	5	歴史文化		
			項	4	社会教育費		施策概要	2	歴史・文化を活用した地域づくり		
			担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線		2354	目	8		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・歴史的風致維持向上に向けた拠点施設を整備する。	概要	・旧森邸(旧図書館含む)等を、まちの博物館と一体的に活用するための施設として整備する。	「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	73.6%	79.4%	

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

[illegible]

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・境界測量 ・詳細設計を実施
評価等	・市の歴史的風致維持向上計画の拠点施設として整備の推進を図った。
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☒ H29完了予定 ・整備後の施設の活用、運営方針等の具体的な検討を進める。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・整備工事を実施
評価等	・市の歴史的風致維持向上計画の拠点施設として整備が完了した。
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

[illegible]

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の 実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	

財務部 査定 の 考え方	
市長査定 の 考え方	

主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	94820 伝統文化交流拠点施設整備事業費	区分	☐ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 文化財課
			☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	9	教育費		
枝番・内容	1 旧森邸等の整備		☐ その他重要事業			項	4	社会教育費	内線	2354
			☐			目	8	文化財施設費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・歴史的風致維持向上に向けた拠点施設を整備する。	概要	・旧森邸(旧図書館含む)等を、まちの博物館と一体的に活用するための施設として整備をする。
----	--------------------------	----	--

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	20,240
	繰越	
	補正等	
	最終	20,240
決算額		14,971
対前年度増減額(決算)		

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	276,070
主な経費	・旧森邸等の整備	
対前年度増減額(当初予算)		255,830

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	276,070
	繰越	
	補正等	△ 258
	最終	275,812
決算額		269,075
対前年度増減額(決算)		254,104

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	0
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		△ 276,070

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等		
[事業実績]		
・境界測量 ・工事の詳細設計を実施		
[評価]		
・市の歴史的風致維持向上計画の拠点施設として整備の推進を図った。		
次年度以降の考え方(担当課)	・整備後の施設の運営方針等の検討 ・整備後の活用について、具体的な検討を進める。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☒ H29完了予定

事業内容・スケジュール	
[事業内容]	
・工事を実施	
[事業概要]	
・飛騨高山まちの博物館とあわせ一体的に活用することで、歴史的風致を向上させる拠点施設と位置付ける。 ・防災機能を併せ持ち、伝統的建造物群保存地区と調和した町並みの整備を図る。 ・伝統産業や伝承芸能などの振興をはかり、市民・観光客の交流と回遊性の向上を図る。 ・市民、観光客が飛騨高山の文化、歴史を体験できる施設として整備する。 ・工芸品等の地場産品を展示販売できる施設として整備する。 ・各種イベントの開催により、市民や観光客が交流できる施設として整備する。	
[スケジュール]	
・整備後の施設の運営方針等の検討 ・整備後の活用について、具体的な検討を進める。	

事業実績・評価等		
[事業実績]		
・工事を実施		
[工事費用]		
旧森邸跡地整備工事着工(平成29年5月) 建築工事 93,260千円 機械工事 34,623千円 電気工事 41,364千円 造園工事 55,737千円 外構工事 22,560千円 設計・監理 5,470千円		
[評価等]		
・市の歴史的風致維持向上計画の拠点施設として整備が完了した。		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容・スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	